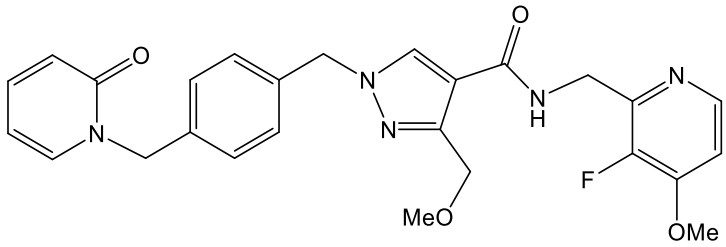
2.2 緒言

KalVista Pharmaceuticals

2.2 緒言

セベトラルスタットは以下に示す新規化学構造を有する有効成分である。



2.2.1 薬効分類

本剤は血漿カリクレイン阻害剤である。

2.2.2 作用機序

セベトラルスタットは、血漿カリクレインの競合的かつ可逆的な阻害剤である。血漿カリクレイン（PKa）は、遺伝性血管性浮腫（HAE）において浮腫を引き起こすブラジキニン（BK）を遊離する高分子キニノーゲン（HK）を切断するセリンプロテアーゼである。セベトラルスタットは、HAEの急性発作治療薬として開発された強力かつ選択的な新規経口PKa阻害剤であり、経口投与後、速やかに溶解・吸収され、PKaをほぼ完全に阻害し、過剰なBK産生を抑制することにより、HAE発作の血管透過性の亢進を制御する。また、本剤は、PKaの阻害を介し、第 XIIa 因子及び追加のPKa を産生するカリクレイン系のフィードバック機構を阻害する

2.2.3 効能・効果

遺伝性血管性浮腫の急性発作

2.2.4 剤型及び用法用量

セベトラルスタット300 mgフィルムコーティング錠（エクテリー錠300 mg）は、楕円形の錠剤である。
通常、成人及び 12 歳以上の小児にはセベトラルスタットとして1回300 mgを経口投与する。効果が不十分な場合又は症状が再発した場合は、2時間以上の間隔をおいて1回300 mgを追加投与することができる。ただし、24 時間あたりの投与回数は2回までとする。